

## 津波・高潮に対するハザードマップ、なくても大丈夫ですか？

### ●津波に対する現況

- ・想定東海地震の震源が見直されたことにより三重県・愛知県などが新しく地震防災対策強化地域に指定されました。
- ・「東南海・南海地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」が成立し一年以内に施行されます。
- ・東海・東南海・南海地震津波研究会(会長：京都大学防災研究所河田教授)など学識経験者による研究も盛んに行われています。

なぜか？

東海・東南海・南海等の巨大地震は近い将来必ず発生します。  
津波による被害は甚大なものになることが予想されます。  
少しでも被害を軽減させる必要があります。

### ●高潮に対する現況

- ・平成 11 年台風第 18 号によって熊本県、山口県では高潮による被害を受けました。
- ・平成 11 年 10 月に高潮災害対策に関する 7 省庁により「高潮災害対策の強化に関する連絡会議」を設置。
- ・7 省庁によりパンフレット【高潮災害とその対策】が発行されました。

なぜか？

近年においても既往を上回る規模の高潮が発生しています。  
また、都市の地下利用などによって新しい災害の可能性も広がっています。

しかし！

高潮は津波と異なり発生の予測が可能であり、避難までの時間があるため人的被害を大幅に軽減できます。

そのためには.....

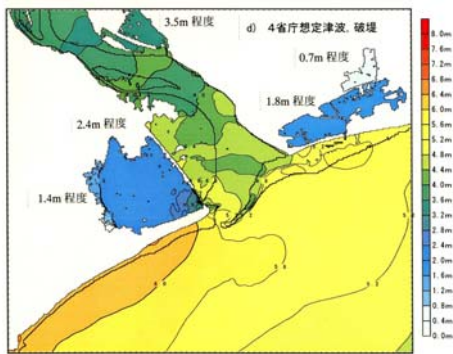
以下の情報を盛り込んだ津波・高潮ハザードマップが必要です。

- ・避難場所、避難ルート of 確保
- ・浸水域の予測
- ・津波到達時間の推定

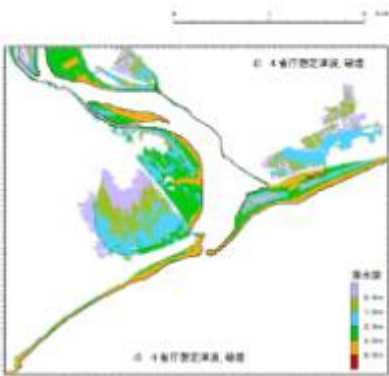
地域住民の防災意識の向上

## ● シミュレーション作成事例

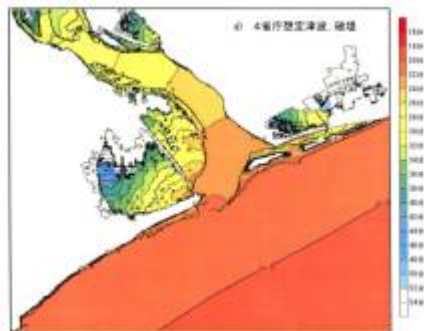
数値シミュレーションにより、津波の到達時間や浸水深がわかります。時間的な変化が追えるため避難経路を適切に設定できます。当社の津波・高潮に対する豊富な検討ノウハウで、ニーズに即したコンサルティングを行います。



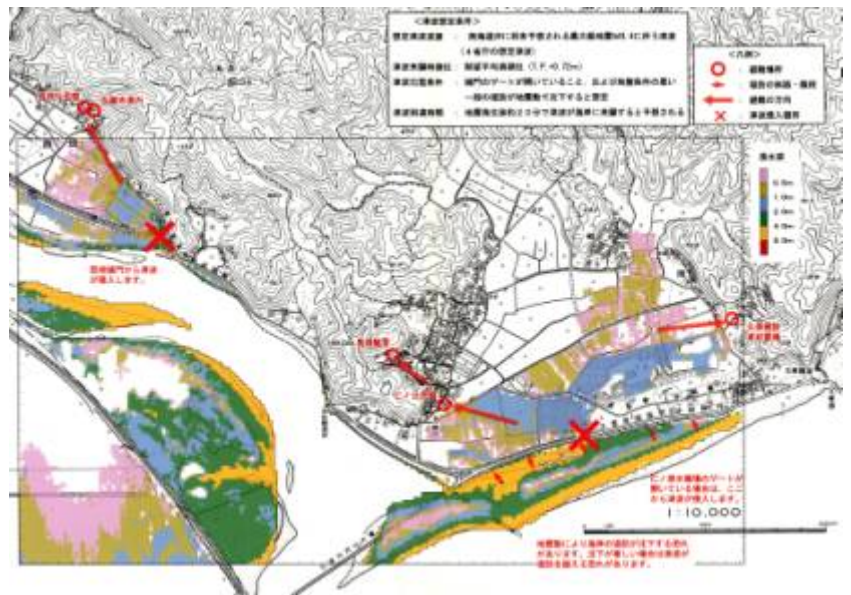
最高水位分布



最高浸水深分布

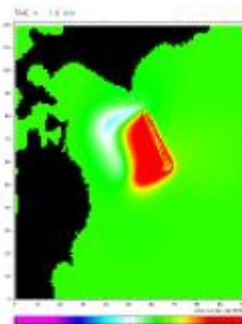


津波到達時刻分布

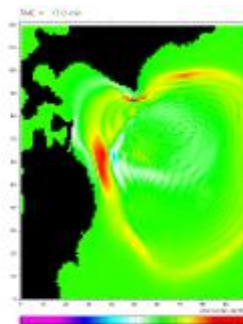


津波ハザードマップ作成事例

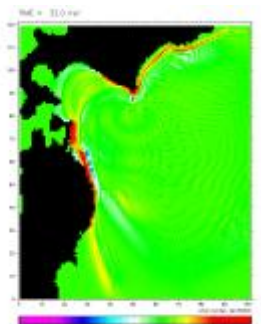
## ● 近地津波数値シミュレーション例 (1968年 十勝沖地震津波の再現計算)



十勝沖地震津波発生



三陸沖を伝播する津波



三陸、北海道へ到達  
(32分後)